

2026 年 7 月 30 日
北海道電力株式会社

2026 年 7 月 30 日 社長会見要旨

【会見要旨】

会見のご説明に入る前に、7 月 28 日に発生した「令和 8 年熊本地震」により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

地震発生に伴い、熊本県内では停電が発生し、現在も継続していると聞いております。当社グループとしまして、九州電力送配電株式会社さまからの派遣要請に基づき速やかにご協力できるよう、要員の確保や移動発電機車等の準備を整えている状況でございます。

一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

本日は、「2026 年度第 1 四半期決算」、「泊発電所の防潮堤工事の完了時期」についてお話しします。

【2026 年度第 1 四半期決算】

はじめに、「2026 年度第 1 四半期決算」について、お手元の資料 1 に沿ってご説明します。2 ページの上段「経営成績」の表をご覧ください。売上高につきましては、相対販売の増加による他社販売電力料の増加などにより、前年同期に比べ 119 億円増加の 2,144 億円となりました。経常利益につきましては、燃料費等調整制度の期ずれ影響が差益から差損に転じたことによる収支悪化などにより、前年同期に比べ 228 億円減少の 187 億円となりました。なお、期ずれ影響のイメージにつきましては、16 ページに掲載しておりますので、後ほどご覧ください。また、四半期純利益につきましては、経常利益の減少などにより、前年同期に比べ 159 億円減少の 147 億円となりました。

続いて 2 ページ下段「財政状態」の表をご覧ください。自己資本比率は前年度末に比べ、0.1 ポイント改善し、18.6%となりました。

以上、2026 年度第 1 四半期決算の概要をご説明しました。

4 ページをご覧ください。2026 年度通期の連結業績につきましては、至近の動向を踏まえ、4 月 28 日の公表値を修正いたしました。売上高につきましては、燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整額の減少はありますが、相対販売の増加などに伴う他社販売電力料の増加などにより、9,700 億円程度となる見通しです。経常利益につきましては、燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整制度の期ずれ差損の縮小による収支好転はありますが、発電設備に係る修繕費の増加などにより、300 億円程度となる見通しです。当期純利益につきましては、220 億円程度となる見通しです。

なお、4 月公表値と比較し、売上高、経常利益、当期純利益ともに同程度となっております。4 ページの表の中ほどをご覧ください。小売・他社販売電力量につきましては、相対販売の増加などにより、4 月公表値に比べ 21 億 kWh 増加し 379 億 kWh 程度となる見通しです。8 ページ以降に当第 1 四半期決算および業績予想に関する経常利益の前年度からの変動要因などを、参考資料としてまとめておりますので、後ほどご覧ください。

最後に、配当予想についてご説明いたします。6 ページをご覧ください。2026 年度の配当予想につきましては、前回公表した予想から変更はございません。決算関連のご説明は以上です。

【防潮堤工事の完了時期】

次に、お手元の資料 2 をご覧ください。泊発電所の防潮堤工事の完了時期についてご説明します。今年 4 月 28 日の会見において、防潮堤工事の完了には、着工後 3 年と数ヵ月程度要する見込みであることをご説明いたしました。その後、防潮堤の工事工程を精査しました結果、防潮堤工事は、2027 年 8 月に完了する見通しとなりました。一方で、現在も、「設計及び工事計画の認可申請」に係る審査の中で原子力規制庁への説明が継続していることから、泊発電所の再稼働時期については、審査の進捗を見極めたうえで、お知らせいたします。また、ポイント還元キャンペーンの概要につきましても、再稼働時期の公表に合わせてお示しできるよう引き続き、検討を進めてまいります。

当社は、引き続き、残る審査対応や、防潮堤を含めた安全対策工事に総力を挙げて取り組み、2027 年のできるだけ早期に泊発電所 3 号機の再稼働を実現できるよう取り組みを進めてまいります。

私からは以上です。